◎府民の森パークレンジャー制度の概要

※※※※※《パークレンジャーとは》※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※
※　　府民の森の自然と利用者をつなぐパイプ役であり、人と自然とが　　※
※　仲良くなれる様々なプログラムを運営・指導するボランティアである。　※
※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

○趣　　旨

府民の森は年間の利用者が１００万人を超え、施設整備はもとより自然公園としてのインタープリテーション活動にますます重点を置く必要がある。

すなわち、府民の森の自然情報や園地の施設整備、管理運営の意図を、わかりやすい様々なプログラムにより利用者に伝えることである。

このため、府民の森は子供からお年寄まですべての人々に心地良く各種のプログラムに参加して頂くため、指導者として青年層のボランティアによるパークレンジャーを育成することとした。

〈府民の森パークレンジャー制度を創設することにより〉

・府民の森・自然公園のイメージアップ

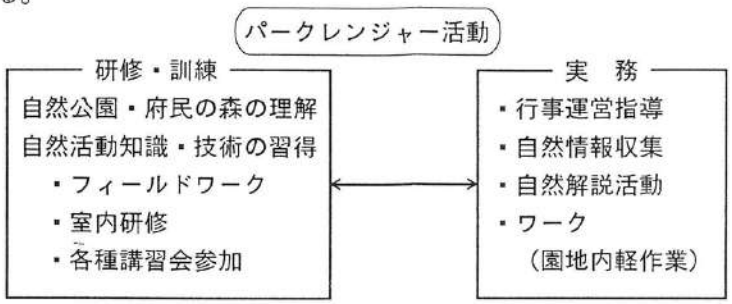
・管理型→利用指導プログラム提供型

（目的）

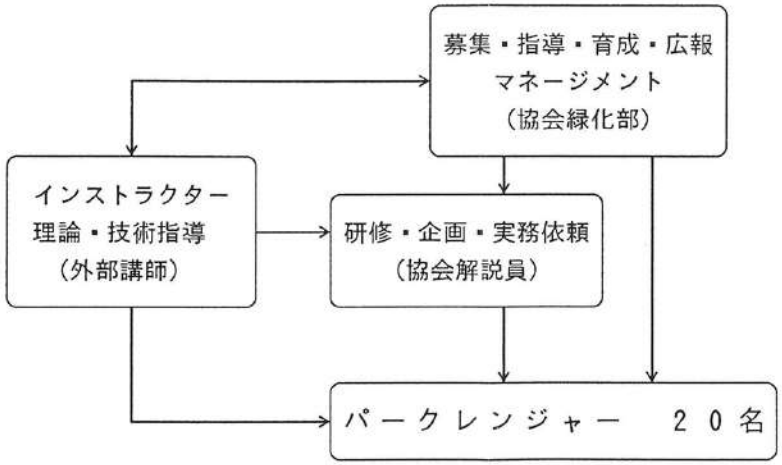
- 府民の森ネイチャーイベントスタッフの充実
- 自然解説活動スタッフの充実
- 新たなソフト事業の展開
- 自然保護を普及啓発する地域社会の担い手

○パークレンジャーの活動内容

パークレンジャーは一定の研修を受講するとともに協会からの依頼により実務に携わる。



○パークレンジャーの組織運営



※インタープリテーション：自然、文化、歴史等あらゆる情報を解説者の感性を通じ利用者に伝えること。

※レンジャー：もともとは森林監視人あるいは森林監理官を意味している。アメリカナショナルパークでは、その業務の中でインタープリターとして自然解説プログラムの指導も重要な位置づけがなされている。